

山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE
YAMAGUCHI PREFECTURE

6 2017
Jun
Vol.710



表紙写真説明

『春の幸せますフェスタ』

(天神町銀座商店街振興組合)

『創立60周年』 山口県理容生活衛生同業組合 『唐戸女子祭り』 協同組合唐戸商店会

特集 2017年版中小企業白書・小規模企業白書の概要

- いま、これを伝えたい！
長門産ネットワーク協同組合
- シリーズ「ものづくり補助金活用事例紹介」
住吉工業株式会社
株式会社松田鉄工所
- 組合等ニュース紹介
- シリーズ「企業組合商品紹介」
企業組合うずしお母さんの店
- 求人確保等に関する要請がありました
- 山口県中小企業団体中央会青年部
第26回通常総会のご案内
- 労働保険の年度更新手続等について
- 若手後継者・組合青年部等交流会のご案内
- 景況動向

中小企業・組合を応援します！～創業・連携・運営を支援～



山口県中小企業団体中央会

いま、これを伝えたい！

6次産業化の支援施設「ながとラボ」が開設！

長門産ネットワーク協同組合

6次産業化を目指して組合を設立

長門産ネットワーク協同組合は、長門産農畜産物の各種加工及び販売の共同事業に取り組む6次産業化により、安定的な農業生産収入等の確保を目指しております。6次産業化モデルとして、新規就農などの次世代の地域担い手の育成にも取り組み、また、地域の2次産業、3次産業事業者も迎え、長門市全体の連携事業として地産地消をより活性化するとともに、近隣消費地への長門産農畜産物及び加工商品



などの情報発信にも取り組み長門産農産物及び加工品の販売促進を目的として設立されました。

“ながとラボ”開設

当組合により、長門市西深川の山口部品工場跡で「ながとラボ」の運用が開始されました。この「ながとラボ」は、長門市の地域産業の発展、所得向上、次世代担い手育成・雇用の創出を目的に作られた官民連携型6次産業化支援施設です。ここには職員が3人程度常駐し、約1300平方メートルの建物に事務所や食肉加工室、会議を行うワーキングスペースなどがあります。また、県内では、まだほとんど設置事例が無いフリーズドライの機械や真空パックなどが行える専門機器を利用できるほか、地元デザイナーによる商品



長門市6次産業化支援施設

ながとラボ

品パッケージのデザイン依頼、共同による販路開拓などの支援も受けることが出来ます。

今後は、菓子製造等の許可も受ける予定で、菓子やジャム、漬物などの商品製造も出来るようになる予定です。

そんな“ながとラボ”で他にも出来ること

商品開発のためのコンサルティング・マーケット調査である「商品開発相談業務」や、専門家による加工品開発である「商品開発業務」、農産物加工品の委託製造である「加工品製造OEM事業」等々、一次産業者の商品開発の費用負担を抑えることで、継続的なチャレンジが可能となります。



“ながとラボ”で課題解決

運営する長門産ネットワーク協同組合は、「農家や農事組合法人などが商品開発するための加工場を持っても回転率が悪く、コストもかかる。市場のニーズに応えるためのノウハウも無かった。様々な専門家のアドバイスを受けながら、商品の中身やパッケージ、コスト、ストーリー性など売れるための戦略と一緒に練っていき、長門の農林水産物を都市圏に売り出す「ながと物産合同会社」と連携して活動を進めていきたい。」と語る。また、「長門市は10月に農林水産物の直売所センザキッチン、19年には総合リゾート運営会社である星野リゾートの温泉旅館オープンなどが控えている。このチャンスを活かすために長門の新しい名物となるような商品を開発することができれば。」と期待を寄せている。

長門産ネットワーク協同組合

【組合概要】

- 理事長：田邊 英雄
- 組合住所：長門市西深川2608-2
- ☎ 0837-23-0777 FAX 0837-23-0075

【組合の主な活動】

共同加工、共同販売事業

特集

2017年版中小企業白書・小規模企業白書の概要

中小企業庁では、「平成28年度中小企業の動向」及び「平成29年度中小企業施策」(中小企業白書)、並びに「平成28年度小規模企業の動向」及び「平成29年度小規模企業施策」(小規模企業白書)をとりまとめ、4月21日閣議決定されましたので、その中の概要を掲載します。

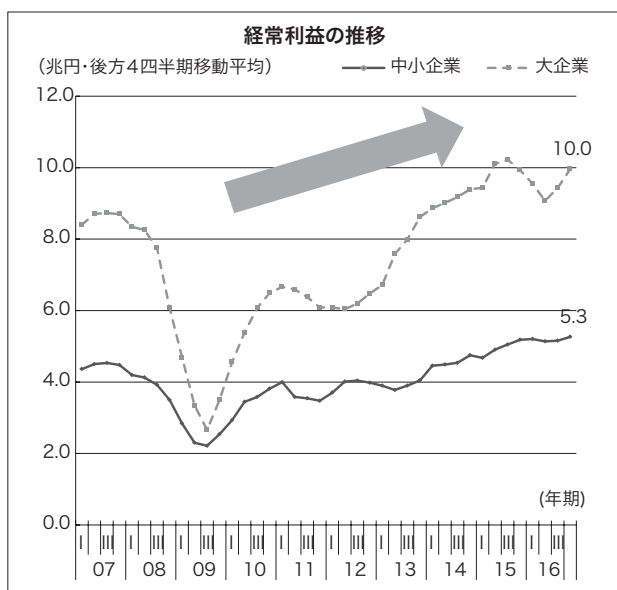
2017年版中小企業白書の概要

第1部 平成28年度(2016年度)の中小企業の動向

●中小企業の現状

我が国経済は緩やかな改善傾向が続いており、中小企業・小規模事業者を取り巻く状況も改善傾向にある。

しかしながら、改善の度合いは規模、業種、地域等によって異なることに加えて、設備投資や売上高の伸び悩みといった課題も存在する。また、取引環境についても大企業と中小企業では依然として差がある。



(資料) 財務省「法人企業統計調査季報」

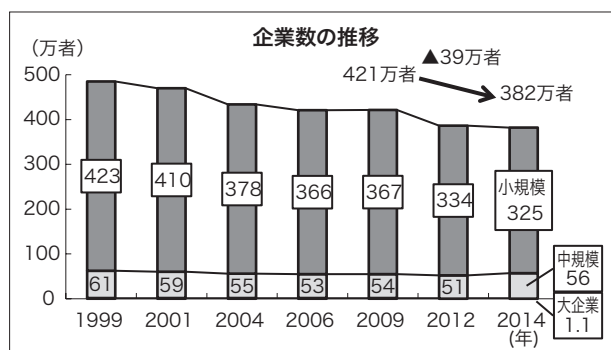
(注) ここでいう大企業とは資本金10億円以上の企業、中小企業とは資本金1千万円以上1億円未満の企業とする。

●中小企業のライフサイクルと生産性

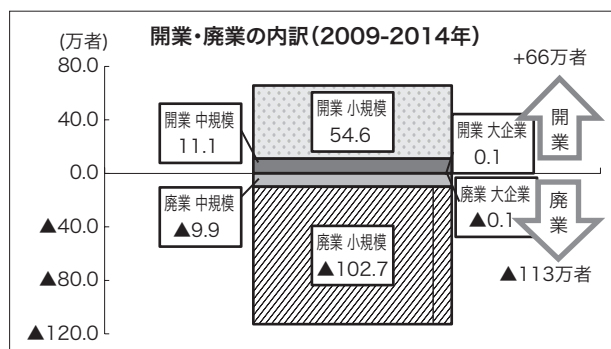
我が国の企業数は減少傾向にあり、2009年から2014年にかけて、小規模企業が大幅に減少したが、中規模企業は増加した。この期間、中規模企業は従業者数を顕著に増加させており、近年、我が国経済における中規模企業の存在感が高まっている。

開業や廃業といった企業のライフサイクルの構成要素の動向は、我が国中小企業全体の生産性に大きな影響をもたらしている。開業は中小企業全体の生産性を押し上げているが、近年押し上げ効果は縮小

している。また、一部の生産性の高い企業の廃業によって全体の生産性が大きく押し下げられている。



(資料) 総務省「経済センサス-基礎調査」「経済センサス-活動調査」「事業所・企業統計調査」再編加工



(資料) 総務省「経済センサス-基礎調査」「経済センサス-活動調査」「事業所・企業統計調査」再編加工

●中小企業の雇用環境と人手不足の現状

我が国の雇用環境が改善する中で、現在の失業は、ミスマッチ等に起因する構造的失業といえる状況になっている。また、構造的失業の背景には、企業の求める職種と求職者の求める職種のミスマッチがあると考えられる。仕事内容に魅力があり、柔軟な働き方ができる中小企業は、就職先として選ばれている。

第2部 中小企業のライフサイクル

●起業・創業

性別や年齢等によって起業希望者・起業準備者が抱える課題は異なり、実際の起業家も起業する前に必要としていた支援を受けられていない場合がある。

また、起業後も、成長段階ごとに直面する課題が異なる。起業希望者と起業準備者一人一人が、自身が抱えている課題や対応する支援を適切に認識し、利用することで円滑な起業を遂げることができる。また起業後は、それぞれの企業が目指す成長を円滑に遂げられるように、各成長段階において適切な資金調達や人材確保等に取り組むことが重要である。

●事業の承継

経営者が事業承継の準備に着手する上では、周囲からの働きかけが重要である。こうした働きかけを受け、経営者が早期に事業の承継に向けた意識を持ち、経営者にとって身近な相談相手である、顧問の公認会計士、税理士、取引金融機関、商工会・商工会議所等が、経営者とともに、最適な方法を探していくことが重要である。

事業の譲渡・売却・統合（M&A）は、後継者候補がいなかった事業を継続したい企業にとって重要な選択肢である。M&Aの検討に当たっては課題が多く、対策・準備は進んでいない。経営者にとって身近な相談相手がこうした潜在的なニーズを捉え、M&Aの専門家と連携しながら、多様な課題に対応できる

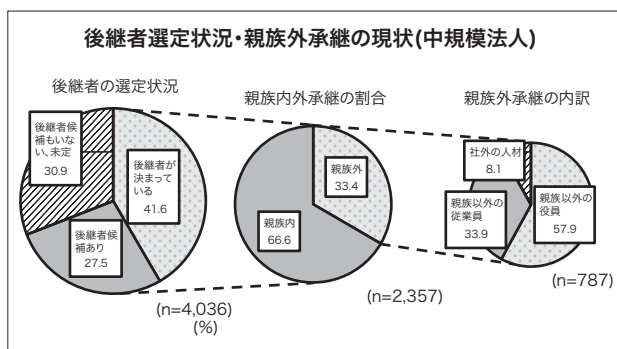
支援体制の構築が必要である。

廃業を選択しようとする経営者も小規模事業者を中心に一定程度存在する。廃業の際、自社の事業や資産を他社に譲りたいとする者もあり、こうした企業の経営資源が次世代に引き継がれる循環を形成していくことが重要である。

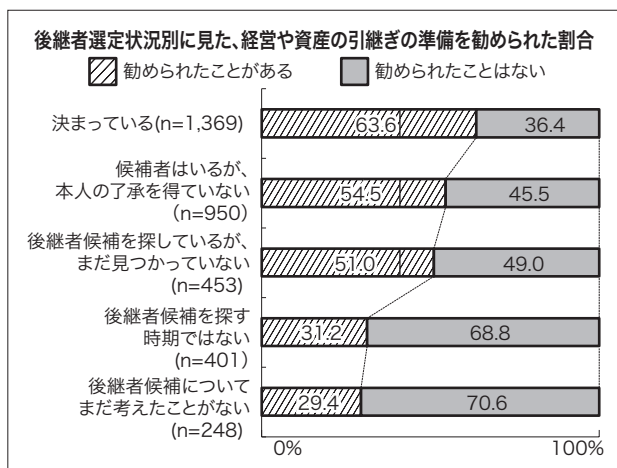
●新事業展開の促進

新事業展開に成功する企業は、マーケティングに注力している。また、マーケティング活動の評価・検証まで実施する企業は利益率の増加、従業員の意欲向上といった効果を得ている。新事業展開の課題として人材不足があげられるが、経営資源に限りのある中小企業においては、今後の成長に向けて、外部リソースの活用も視野に入れながら、新事業展開を積極的に実施していくことが重要である。

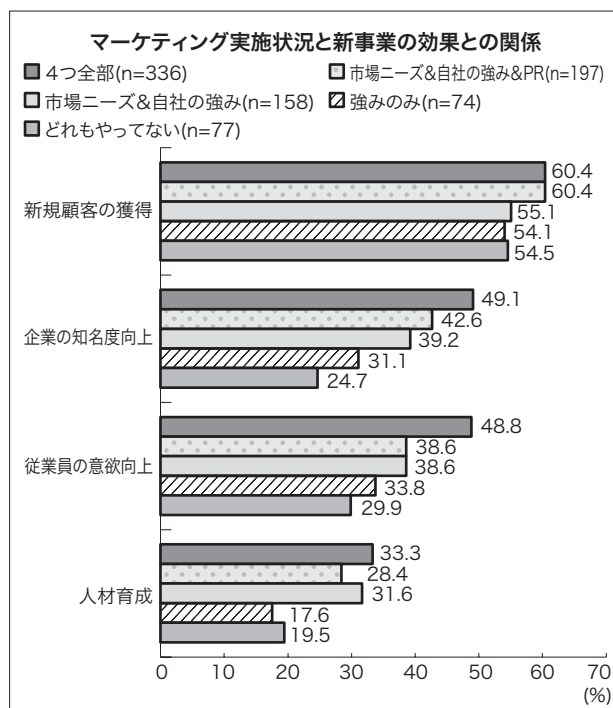
また、IoT等の新技術やシェアリングエコノミーという新たな経済の仕組みについて、現時点で、中小企業における活用度合いはまだ低いものの、活用している企業は売上高の増加や業務コストの削減等の効果を感じており、中小企業にとって成長の機会につながる。



(資料) 中小企業庁委託「中小企業の成長に向けた事業戦略等に関する調査」(2016年11月、株野村総合研究所)



(資料) 中小企業庁委託「中小企業の成長に向けた事業戦略等に関する調査」(2016年11月、株野村総合研究所)



(資料) 中小企業庁委託「中小企業の成長に向けた事業戦略等に関する調査」(2016年11月、株野村総合研究所)

(注) 1 マーケティング活動とは「自社の強みの把握」、「市場ニーズの把握」、「情報戦略」、「マーケティング活動の効果検証」を指す。

2 新事業展開の効果として、定性的な効果のみを集計している。

3 PR活動とは、広告活動だけでなく、自社評価の把握や各種メディアの効果的な活用等の戦略的な情報収集発信をいう。

●人材不足の克服

人材確保に成功する中小企業は、採用の際には、自社の経営方針を明確にした上で、求める人材を的確に把握し、その人材に最も有効な手段で情報を伝え、様々な採用手段を活用している。

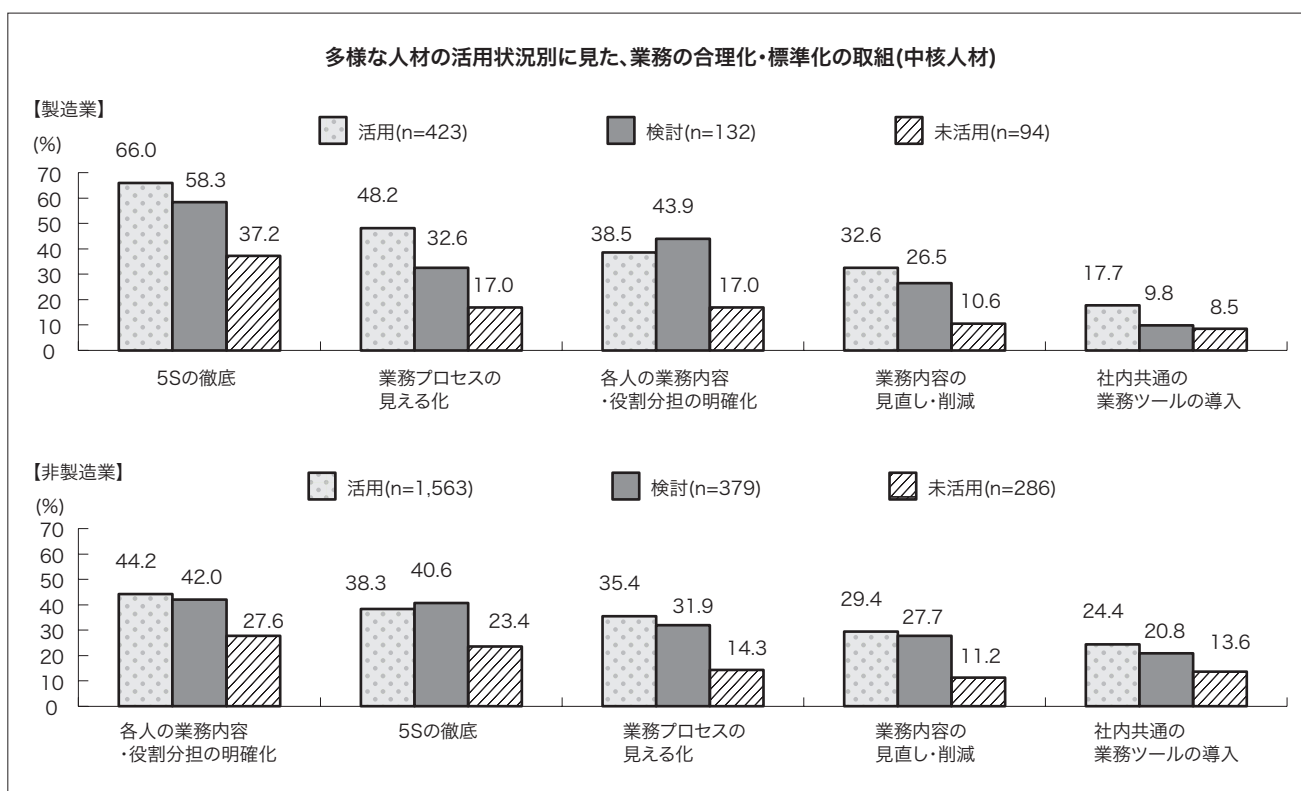
中小企業の人材確保は厳しい状況が続くことが見込まれる中、柔軟な働き方を前提として多様な人材を雇用し、それらの人材が働きやすいよう、職場環境の見直しや業務プロセスの改善を行っており、業務の効率化にもつなげている。また、必要に応じて、社内の改革を進めながらIT化、省力化や外部の資源を有効に活用する等、中小企業が柔軟性を活かし、人材不足の中でも成長に取り組むことが重要である。

2017年版小規模企業白書のポイント

第1部では、最近の小規模企業の動向について、中小企業・小規模事業者の景況が緩やかな改善傾向にあるものの、改善の度合いは企業規模や組織形態などによって異なることに加えて、設備投資や売上高の伸び悩みといった課題に直面していることを明らかにした上で、中小企業・小規模事業者のライフサイクルと生産性及び中小企業・小規模事業者の雇用環境と人手不足の現状について分析を行っています。

第2部では、小規模事業者のライフサイクルに着目し、起業・創業、事業の承継及び売上拡大に向け

た取組について分析を行っています。起業・創業については、起業前の起業希望者・起業準備者は性別や年齢等によって様々な課題を抱えており、また起業後についても、各成長段階において適切な支援施策等を利用することが重要であることを示しています。事業の承継については、経営者が事業承継の準備に着手する上では、周囲からの働きかけが重要であること、事業の承継や事業の譲渡・売却・統合（M&A）の検討に当たっては課題が多く、対策・準備が進んでいないため、専門家と連携しながら多様な課題に対応できる支援体制の構築が必要であること、小規模事業者の中でも廃業を選択しようとする経営者は個人事業者が多く、また自社の事業や資産を他社に譲りたいと考えている者もいるため、こうした経営資源が次世代に引き継がれる循環を形成していくことが重要であることを示しています。売上拡大に向けた取組については、小規模事業者の中には、顧客ニーズや自社の強みを把握し、PR活動を行いながら、新市場開拓や新商品開発に取り組むことで売上拡大につなげている事業者もいること、小規模事業者ならではの柔軟性を活かし、女性やシニア等の多様な人材を活用する、また内部の経営資源にこだわらずアウトソーシングにより外部の経営資源を活用すること等により、持続可能な発展を遂げ、成長につなげていくことが重要であることを示しています。



(資料) 中小企業庁委託「中小企業・小規模事業者の人材確保・定着等に関する調査」(2016年11月、みずほ情報総研株)

創立60周年記念式典を開催

山口県理容生活衛生同業組合
(理事長 吉永 和義)

5月15日、山口県理容生活衛生同業組合の創立60周年記念式典が山口市にて開催され組合関係者、来賓ら約130名が節目の年を祝いました。

吉永理事長より「組合をより深化させ、未来を担う若者たちに夢と希望のある組合を継承したい」旨挨拶があった後、功労者や永年組合員の表彰が行われました。

また、来賓として出席された安倍昭恵首相夫人より祝辞がありました。

同組合は、1957年に設立。3月1日現在の組合員数は646人。



『唐戸女子祭り』プレ金に開催

協同組合唐戸商店会
(理事長 吉田 悟)

4月28日(金)のプレミアムフライデー(略=プレ金)、商店街の女性を中心に、「女子会の賑やかな唐戸の元気を伝える」ための『唐戸女子祭り』を初開催しました。テーマは「健康と美」。飲食店やエステサロン等14店舗が参加し、商店街名物「一銭焼き」の販売やフラワーアレンジメントのワークショップもあり、仕事帰りの女性が参加しました。

発起人の一人は、「プレ金では食事を楽しむだけでなく、趣味をとおして異業種の方々と交流の時間が持てますので、是非、唐戸商店街に気軽にお立ち寄りください。」と話されています。



『春の幸せますフェスタ』が開催される

天神町銀座商店街振興組合
(理事長 坂本 恵次)

4月29日、防府駅から防府天満宮までの各エリアで『春の幸せますフェスタ2017』が開催され、「おんなみこし」の練り歩き(連合渡御)やカレーフェス等様々なイベントで賑わいました。当商店街では、「幸せます♪まちなか雑貨マルシェ」として、こだわりのハンドメイド作品22店舗が並んだほか、昔懐かしい昭和のおもちゃで遊ぶコーナーも設けられ、家族連れらが楽しんでいます。

ピンク色を身につけていくと抽選券がもらえ、商店街の各店で特典が受けられる「カラーミッションピンク」企画が行われていたため、通常よりもピンクの装いの来街者が多く、イベントに華を添えていました。



ソリューション・プロバイダーへ進化

山口県印刷業工業組合
(理事長 藤田 良郎)

山口県印刷工業組合では、5月19日、山口市において、全印工連特別顧問 ディー・ケー・エス代表の相馬謙一氏より「ソリューション・プロバイダーへのステップアップガイド」をテーマに講習会を開催し、組合員多数の参加がありました。

印刷会社の経営に求められる要件は、これまでは、「作り方」重視の傾向であったが、今後は「お役立ち」、すなわち顧客の課題を印刷メディアを通して解決していくことが重要となっており、「お役立ち+作り方」のプロフェッショナルであるソリューション・プロバイダーへの進化が求められている等の講話がありました。



“食に関わる” 企業組合商品紹介

企業組合うずしお母さんの店 柳井市 大島

鯛寿司

うずしお母さんの店は、30年前より地道に地域の特産品開発を行ってきた農家・漁家の主婦グループを前身とし、地域おこしを目的に製造販売を担うため2009年に設立、地元産物を活かした独自性溢れる加工品を次々に作り出し評判を得て、過疎化が進む地域に新たな魅力と雇用の場を創出されています。

今回は、そんな企業組合うずしお母さんの店の看板商品である「鯛寿司」を紹介致します。この商品は、地元に残る郷土料理をアレンジしたもので、地元を代表する特産品として、「やまぐち農山漁村女性起業統一ブランド（やまみちゃんブランド）」として認定されています。



組合直売所

◆鯛寿司

柳井市の大島の瀬戸は、急潮と渦潮で知られており、その潮流と自然岩礁によって、鯛やチヌ、メバルの好漁場でもあります。時に、真鯛は、渦潮にもまれ



身が固くしり美味とされています。漁法は、生きエビを餌にする伝統の一本釣り。その醍醐味を求め、遠方からも多くの釣り客が訪れる程です。そんな、大島の鯛をふんだんに使った鯛寿司は、同じく大島のみかん畑で摘果したみかんの幼果で作った『橘香酢』を調味ベースに一晚漬け込んだ鯛の切り身と、まるやかな酢飯が絶妙なハーモニーを奏でる美味しさです。鯛寿司は、188号線沿い大島駅から柳井方面1kmの組合直売所や大島大橋の袂にある大島観光センターの「うずしお母さん」で販売されており、早い時には午前中には売り切れる人気商品です。

組合概要

組合名 企業組合うずしお母さんの店
住 所 柳井市大島977
TEL 0820-45-3353



事業主の皆様へ

労働保険の年度更新手続等について

—お知らせ—

◎ 年度更新の手続について

労働保険に係る平成28年度分の確定保険料と平成29年度分の概算保険料の申告・納付手続は
6月1日から7月10日までの間に行ってください。

◎ 電子申請、電子納付について

電子申請を行うこともできます。また、申告書を電子申請した場合には電子納付を行うこともできます。

詳細については、電子政府の総合窓口 <http://www.e-gov.go.jp/> をご覧ください。

6・7月の2ヶ月間、山口労働局労働保険徴収室に、労働保険手続きに係る電子申請体験コーナーを設置することとしておりますので、是非ご活用ください。

◎ 申告書受付相談会の開催について

県内各地において、申告書の記入相談・受理、保険料の納付などができる「申告書受付相談会」を行いますので、ご利用ください。

お問合せ先：山口労働局労働保険徴収室 ☎083-995-0366

ホームページ <http://yamaguchi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

月次景況調査結果

平成29年4月期

※DI値(前年同月比)＝増加・好転組合割合－減少・悪化組合割合

(表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業種別の景況

	業 種	前年同月比	前月比
製 造 業	食 料 品	☁	↗
	織 維 工 業	☁	→
	木 材 ・ 木 製 品	☂	→
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☂	↘
	一 般 機 器	☁	↘
	輸 送 機 器	☀	→
非 製 造 業	卸 売 業	☁	→
	小 売 業	☁	↗
	商 店 街	☂	↘
	サ ー ビ ス 業	☁	↘
	建 設 業	☁	↗
	運 輸 業	☁	→
	そ の 他	☂	→

4月の業種別景況の前月比DI値は、14業種の内、好転が5業種、7業種が同等、2業種が悪化となり、全体の景況感も好転している。

製造業の一般機器、輸送機器の受注は上向き、非製造業のサービス業は客数の増加で、売上が増加している模様である。一方、卸売業、小売業等では売上が減少しているとの報告である。

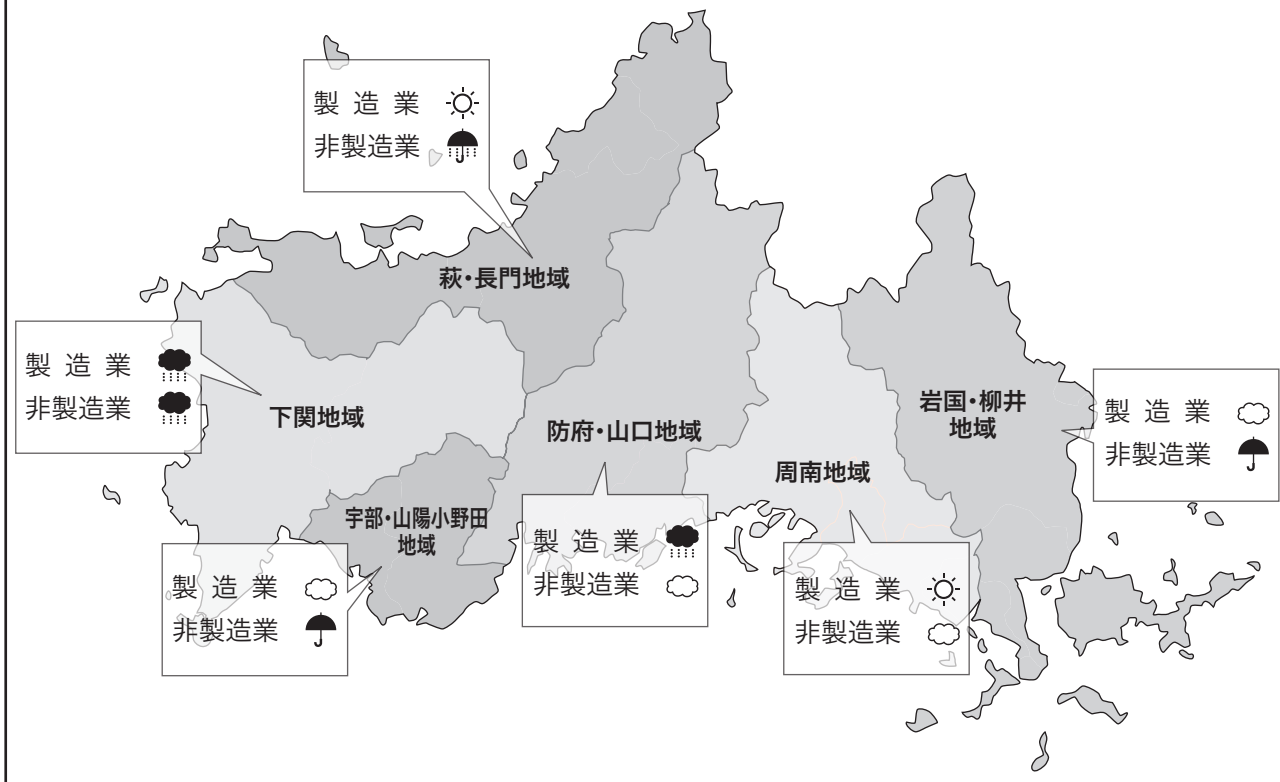
8業種から人員・人材不足の報告があるが、過去には他業種からも報告があり、ほとんどの業種で問題となっている。

また、東アジア情勢をはじめとする海外リスクも経営上の不安要素である。

DI値

30以上	☀	－30以上－10未満	☁
10以上30未満	☁	－50以上－30未満	☂
－10以上10未満	☂	－50未満	☂

地域別の景況



情報連絡員報告

平成29年4月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景況動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ（<http://axis.or.jp/>）の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食 料 品		○ 人口減少にともなう売上の減少が目立つ。（調味料製造業） ○ 4月25日時点の売上は対前年同月比でほぼイーブンである。大河ドラマの反動による減少はほぼ納まり、平年の水準に戻った。（水産食料品製造業）
	織 維 工 業		○ 売行きが良く無い模様で、メーカーも在庫を抱えている。また、中国生産も増えているので、受注が減少している。（外衣・シャツ製造業 下関市） ○ 仕事量は確保できているものの、資材等在庫の納品が遅れることが多く、生産現場が少し手薄の状況である。（外衣・シャツ製造業 萩市）
	木 材 ・ 木 製 品		○ 若者の定着が悪く、従業員の高齢化が進んでいる。（下関市）
	印 刷		○ 3月は繁忙期ということもあり印刷需要は旺盛であったが、その反動もあり4月は芳しくない。（印刷）
	窯 業 ・ 土 石 製 品		○ 出荷量は、前月比110%、前年同月比87%。平成28年度出荷は、対前年度比88%となり、3年連続で対前年度比を割り込んだ。（生コンクリート製造業） ○ 年によって仕事量が増減するため、人材育成も必要だが今後を考えると雇用には不安要素の方が多い。事業主やベテランの高齢化も人材不足の一因。（石工品製造業）
	一 般 機 器		○ 前月と変わらないがやや上向きの傾向。海外プラント関係は順調。相変わらず人手不足。トランプショックに端を発し、EU、北朝鮮、中国、ロシア、さらにシリア問題と、いずれも経営上の不安を感じさせる。（一般機械器具製造業） ○ 金型の受注では、商談から確定までが長くなかなか決まらないことが多いが、目先は忙しい状況。（特殊産業用機械製造業）
	輸 送 機 器		○ 鉄道車両部門は、これから本格的に生産量が増加し繁忙となる見込みだが、コスト圧縮の要請が厳しい。精密加工部門は踊場の状態。（鉄道車両・同部品製造業）
非 製 造 業	卸 売 業		○ 売上は前年同月比で▲13.8%。海苔の高値が影響した。（乾物卸売業） ○ 魚が獲れず入荷が少ない。天然フグは多いが価格が高騰、養殖フグの価格は安定しているが、フグのシーズンが終わり販売先もない。（生鮮・魚介卸売業） ○ 言われるほどの景気回復感はないが、若干の動きはある。（各種商品卸売業）
	小 売 業		○ 売上は前年と同じ程度であった。メーカー美容部員の減少により売上が落ちている店もあるが、店舗を縮小して収益が上がっているところもある。（化粧品小売業） ○ 前年同月頃と比べ客数が減少。中心市街地の百貨店でイベントがあると客数は増加するが、売上に繋がるかどうかは疑問。全体的に厳しい。（各種商品小売業 山口市） ○ 組合員は全盛期に比べ半分以上。今後は、店主の高齢化や後継者不在のため、組合員数が減少していく可能性がある。（各種商品小売業 下関市）
	商 店 街		○ 食料品・日用の消耗品・雑貨類等は堅調に動いている。主力の婦人服が低調ではあるが、売上好調な店舗が一部ある。雇用の確保が出来ていない。（山口市） ○ 組合員も高齢化し、死亡・入院等で数件閉店。親族も継がず、住居兼店舗がほとんどで貸すことも出来ず、商店街として手の打ちようがない現状。（宇部市）
	サービ業		○ 暖かくなったので、来店サイクルが良くなった。（理容業） ○ 28年度末の山口県の自動車継続検査台数（登録車+軽自動車）が、対前年比2.2%のプラスとなり、今後もこの状況が続くことに期待している。（自動車整備業） ○ 客単価が全体的に上がっている。リピーターやシニア客は増加しているが、ビジネス客がやや減少している。週末はほぼ満室だが、平日の稼働率が低い。（旅館業）
	建 設 業		○ 組合員数が減少し新規組合員の獲得も困難。事業者は工事量の確保が先で人を斡旋しても雇用に結びつかない。先行が不透明で意気が下がっている。（土木工事業）
	運 輸 業		○ 国内輸送はやや上昇、輸出は横ばいとなり、前年同月比で約4%弱のプラスであった。燃料費は2円の値上げ。（一般貨物自動車運送業 下松市） ○ 受注量は、前年同月比で7%程落ち込んでいる。景況以前の問題の乗務員不足により受注が思うように出来ない。（一般貨物自動車運送業 防府市） ○ 組合員の減少により組合員全体の売上は▲5.7%であるが、組合員個々の売上は2%位増加。組合として対応できない地域がある。（一般旅客自動車運送業）
	そ の 他		○ 人手不足で悩んでいる。（介護事業）

シリーズ『ものづくり補助金活用事例紹介』 その47

『砕石製造プロセスの改善による生産性の向上とIoTを用いた効率的な維持管理計画』

(形態) ものづくり技術
(事業類型) 高度生産性向上型
最新モデル

(会社概要) 当社は、昭和31年に山口県下関市で砕石の製造・販売業者として創業し、「快適の基盤づくり」を目指して、土木工事部門・建築工事部門・砕石製造部門・環境産業部門を擁しています。

(事業概要) 本事業に係る砕石製造部門は、「快適な生活環境の土台となる良質な製品を製造する」ことを目的としており、砕石製品は、道路・橋梁・鉄道・港湾・空港など国民生活基盤において重要な社会インフラや、様々な建造物に広く使用されています。

砕石の需要は、政治や景気動向に色濃く反映されるため、デフレ等の影響により極端に需要が低迷しました。そこで、生産工程の見直しやエネルギー監視システムの導入によるコスト削減などの経費削減に努めてきましたが、景気の回復により需要が増加し、生産能力の不足、不十分な設備保全、製造コストや時間外労働の増大、製品種類の拡充が出来ないといった問題が生じました。

本事業では、「電動自走式クラッシャ」の導入により、抜本的に生産プロセスを改善することで飛躍的に生産能力が向上し、IoTの活用によるエネルギー監視システムの改善により、全職員がスマートフォンやパソコンを用いてリアルタイムで施設の運転状況や生産量を確認できる「見える化システム」を確立し、機器の運転管理や生産プロセスの最適化を図ることで、生じた時間的余力により製品の拡充に取り組んでいます。

また、当該事業はロボット革命イニシアティブ協議会が募集した「中堅・中小製造業のIoTを活用した先進取組事例」に採択されました。

お客様満足度の向上のため、製造プロセスの抜本的改善により増加する砕石需要に応えることができました。

今後はIoT技術を更に拡充し、施設や環境の「見える化」を推進し、より安全で働きやすく、笑顔が溢れる職場を目指すと共に良質な品質管理を行ってまいります。

また、高度成長期に建設された社会インフラの多くは老朽化しており、大規模改修や施設更新により大量の建設廃棄物が発生しております。リサイクル率の推進といった社会ニーズに対応するため、当該事業の機械設備が持つ破砕能力を活かし、廃コンクリートを対象に天然砕石に変わるリサイクル製品に再生することで、地域社会の発展に寄与し、信頼される企業を目指します。



代表取締役
中村 成志氏

住吉工業株式会社

〒752-0927 下関市長府扇町1番23号
TEL: 083-248-1223 FAX: 083-248-3456
URL: <http://kogyo.sumiyoshi-gp.jp/>



電動自走式クラッシャ

シリーズ『ものづくり補助金活用事例紹介』 その48

『新規事業分野の技術基盤確立のための生産プロセス革新と事業拡大』

(形態) ものづくり技術
(対象類型) 精密加工
(事業類型) 高度生産性向上型
最新モデル

(会社概要) 当社は昭和23年5月、小型船舶の内燃機関の修理を専門として創業し、地場化学コンビナートの拡大に伴って事業転換し、化学プラント部品の製作および修理の機械加工を主要事業としています。特に、単品・小ロットの製造や短納期の修理を高度な加工技術と修理ノウハウを有したオペレーターが行い、多種多様な機械部品及びメンテナンスサービスをお客様に提供しています。

(事業概要) リチウムイオン電池の電解液向けの不燃性溶媒を充填する特殊容器（二次電池電解液向け等特殊充填容器）は、禁水性・耐腐食性等の高度化を行わなければなりません。

そこで、それらを実現するための一つのポイントである精密溶接加工を行う自動溶接システムを自社設計・開発し、オペレーターの操作技術及びノウハウを駆使した結果、二次電池電解液等用途の『軽量可搬性特殊充填容器』、『一般特殊充填容器』の2種類を平成28年2月までに上市しました。本開発を基盤とした応用展開を推進し、2016年度のやまぎん地域企業助成基金から「創造的・革新的な経営に取り組む企業」として表彰され、また、2016年度の「山口県産業振興奨励賞の知事賞」も受賞いたしました。

全国の化学メーカーは高機能材料開発を指向しています。このような化学品は品質管理上、汎用容器ではなく、当社が開発したような特殊充填容器が必要になります。現在の当社取引先は山口県内の化学会社ですが、関連製品の営業対象は全国の関係企業に広げることができます。また、応用展開で製作した別の高機能材料向け容器も、同材料需要の伸びに伴い安定的な受注ができてと考えております。



代表取締役社長
松田 充史氏

株式会社松田鉄工所

〒746-0028 周南市港町6-47
TEL: 0834-63-1550 FAX: 0834-62-3812
URL: <http://www.matsudatekko.co.jp>

本事業では、当該容器を大ロットかつ高精度で量産するために、NC旋盤ベースの複合加工機を導入し、要求コストの実現、納期の短縮など、量産体制の整備を図りました。

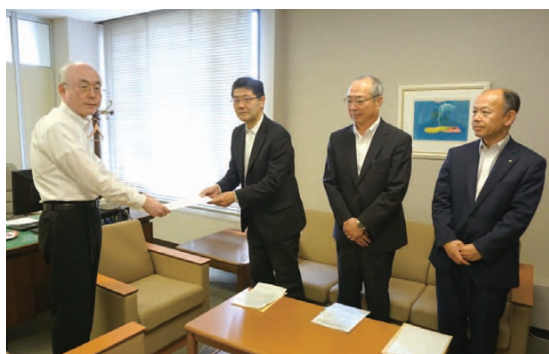


「軽量可搬性特殊充填容器」、「一般特殊充填容器」

山口県知事、厚生労働省山口労働局長、山口県教育委員会教育長より 求人確保等に関する要請がありました

5月17日(水)、金刺義行山口労働局長、大谷恒雄山口県商工労働部長、浅原司山口県教育委員会教育長が本会を訪ねられ、下記の要請がありました。

新卒予定者等の正社員求人の確保・拡大について、配慮を賜るとともに、正社員求人の拡大と非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善、長時間労働の是正等によるワーク・ライフ・バランスの推進など「働き方改革」に取り組まれるとともに、障害者の積極的な雇用確保を図っていただきたい。



つきましては、本会
会員組合・組合員企業
の皆様には、趣旨をご
理解賜り、求人確保等
に取り組んでいただき
ますよう、お願い申し
上げます。

1 新卒予定者等の正社員 求人の確保・拡大

- ・新卒予定者の正社員採用枠の確保・拡大
- ・卒業後3年以内の未就職卒業者の新卒採用枠での応募機会の確保

2 「働き方改革」の推進

- ・正社員求人の拡大と非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・新卒者等の職場定着の促進

3 障害者の雇用確保

- ・障害者雇用率の引上げに対応した障害者の積極的な雇用確保



山口県中小企業団体中央会青年部 第26回通常総会

日時：平成29年 **7月27日**(木) 16:00～16:50

場所：ホテルニュータナカ

山口市湯田温泉2丁目6-24 ☎083-923-1313

会員の皆様のご出席をお待ちしております。

『若手後継者・組合青年部等交流会』

講習内容

『嫌いな人がいなくなる！
お笑いコミュニケーション術』

講師

職場コミュニケーションの専門家

アンディ 中村 氏



開催日

平成29年 **7月27日**(木)
17:00～18:30

会場

ホテルニュータナカ

受講料

無料(懇親交流会は6,000円)

山口県中小企業団体中央会青年部では、組合青年部間の経験交流を深め、相互啓発と連携強化のため、若手経営者や組合青年部等を対象に基調講演と懇親交流会を毎年開催しています。

お問い合わせ先：山口県中小企業団体中央会 担当：前田／花田 ☎083-922-2606



まらり★ 人材レター

2017
Jun



企業組合岩国尾津っこのみなさん

私たちは、前身のグループ活動時から、「干しレンコン」等の地元で取れるレンコンの加工品の生産販売を中心に取り組んでおり、企業組合として法人化し3年が経ち、加工品の種類や、取引先も増加しました。

引き続き、組合員が生産する農産物を活かした新商品開発や新たな販路、尾津地域以外の組合等との連携を図りつつ、地域活性化のために活動していきたいと考えております。

☆企業組合岩国尾津っこ

〒740-0032 岩国市尾津町三丁目5番50

☎ 0827-31-0295

山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号

山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

HP <http://axis.or.jp/>

印刷製本 株式会社 桜プリント社